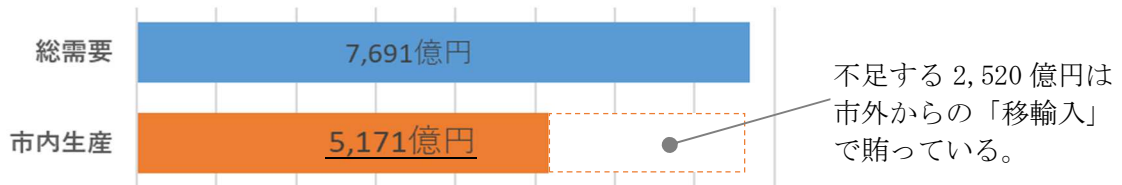


〔資料 1〕 2017 年産業連関表で得られた基本データ

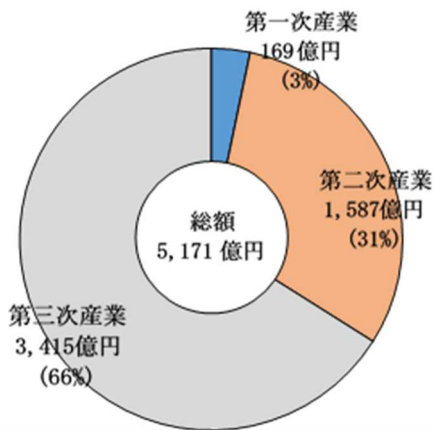
1 豊岡市経済のサイズ ～市全体で一年間に生まれる需要は？～

総需要 7,691 億円

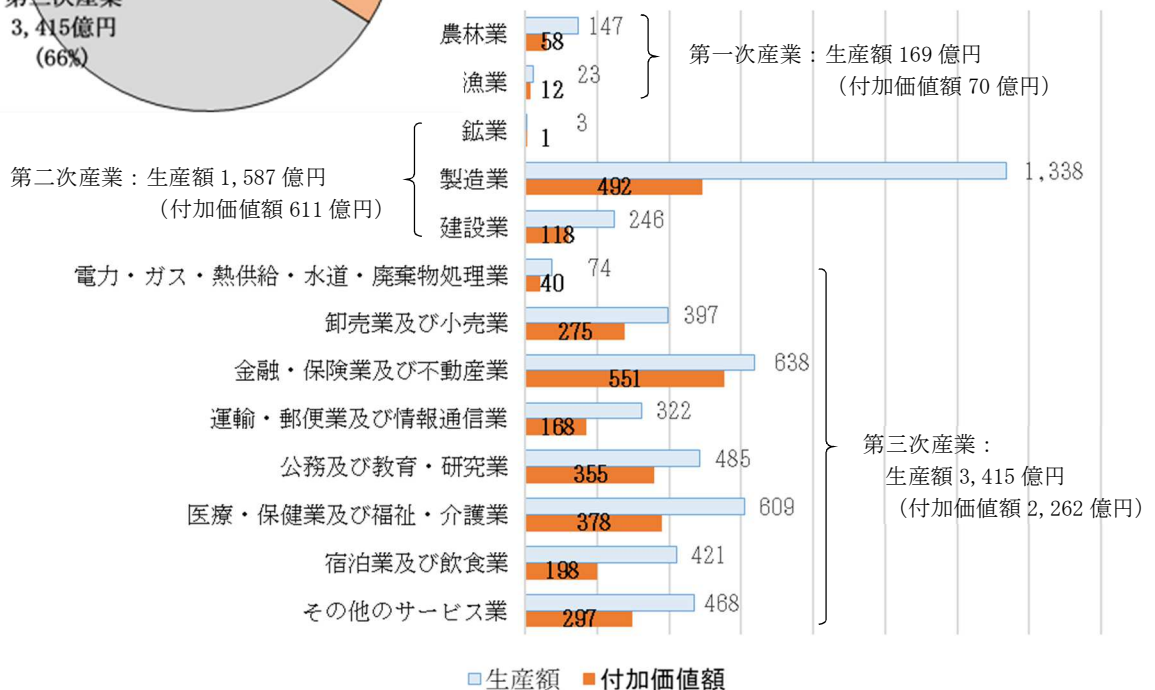
2 市内産業による生産額 ～総需要のうち市内で生産される額は？～



〔市内生産額の内訳〕



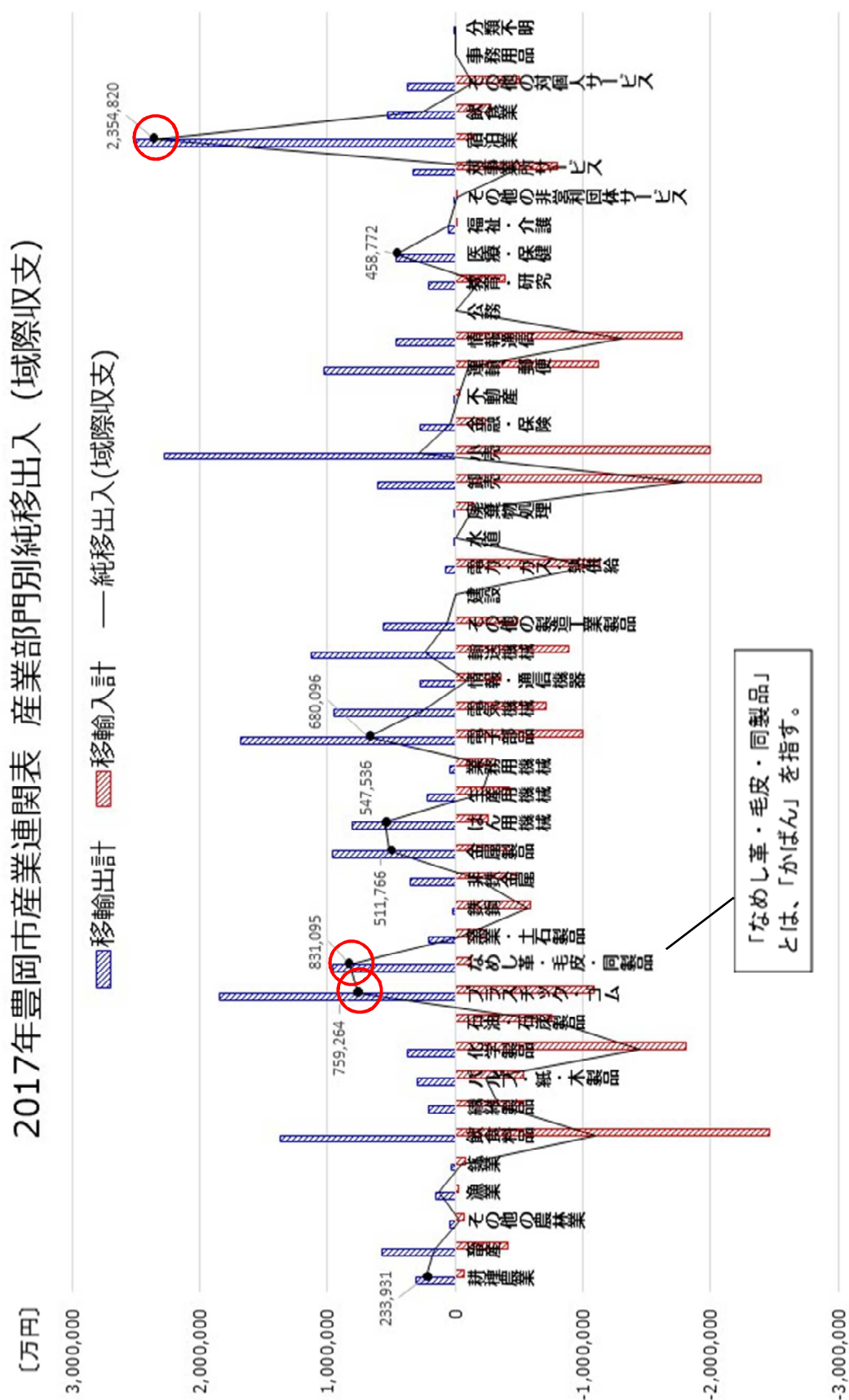
第一次産業：農業、林業及び漁業
 第二次産業：鉱業、建設業及び製造業
 第三次産業：上記以外の全てのサービス



3 移輸入と移輸出の差 ～市を一つの国と見立てた場合の貿易収支は？～



4 産業部門別の域際収支 ～どの産業が外貨を多く稼いでいる？～



〔資料２〕 2017 年産業連関表により明らかになったポイント

2011 年表との比較を含む分析により、ポイントを整理する。

1 豊岡市の経済のサイズ

「総需要で見る“経済のサイズ”は、縮小傾向にある。」

2011 年 総需要 8,289 億円	⇒	2017 年 総需要 7,691 億円	△598 億円 △7.2%
------------------------	---	------------------------	------------------

※この間の人口減少（特に生産年齢人口の減少）が影響しているものと考えられる。

〔参考〕 国勢調査データ

区 分	2010 年	2015 年
市内人口	85,592 人	82,250 人 (△3.9%)
うち 20 歳以上 65 歳未満	45,625 人	41,512 人 (△9.0%)

2 域際収支の状況

「“域際収支”は、これまでの認識ほど悪くない。」

2011 年	⇒	2017 年
移輸出 2,220 億円		移輸出 2,250 億円
－) 移輸入 3,240 億円		－) 移輸入 2,520 億円
域際収支 △1,020 億円		域際収支 △ 270 億円

※サーベイ法では、事業所の売上・仕入の実態（売り先、仕入れ先等）を調査するため、按分法よりも正確に域際収支の姿を明らかにできる。

3 外貨を稼ぐ産業

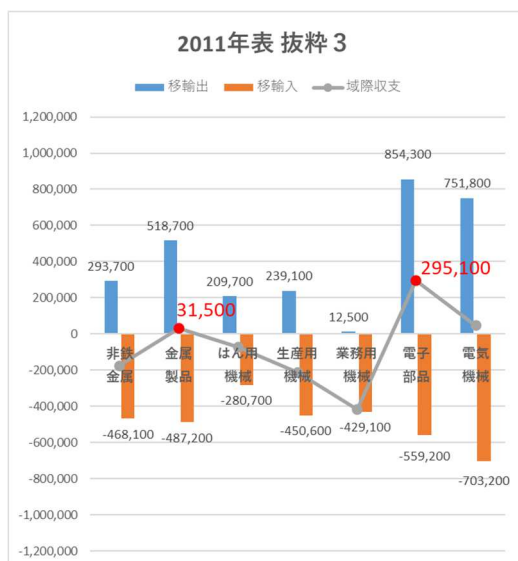
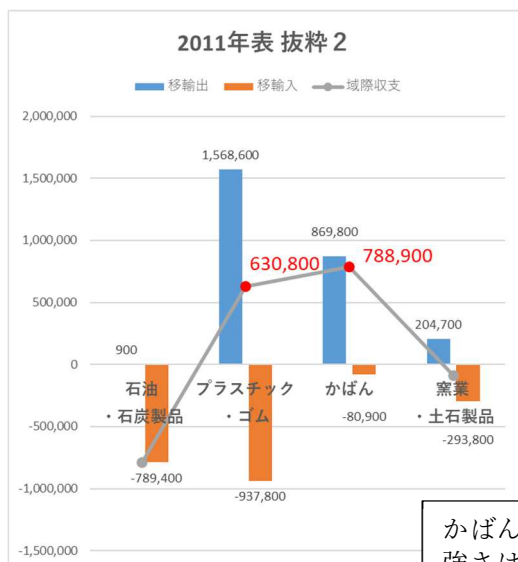
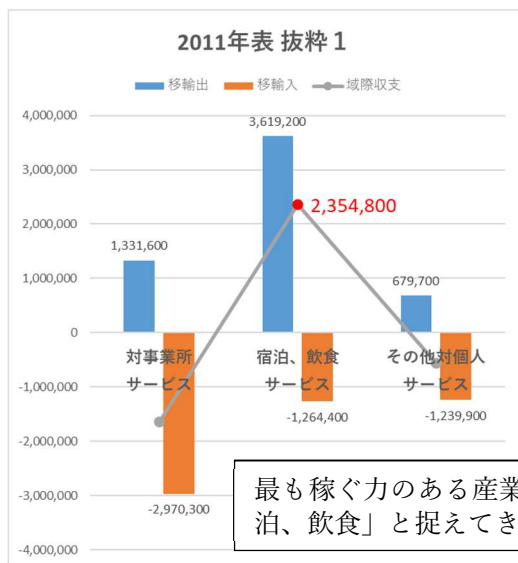
「細分析により、外貨を稼ぐ力のある産業がさらに明確に。」

2011 年	⇒	2017 年
① 宿泊・飲食サービス		① <u>宿泊業</u>
② その他非営利団体サービス		② <u>かばん</u>
③ かばん（なめし革…）		③ プラスチック・ゴム
④ プラスチック・ゴム		④ 電子部品
⑤ 農業		⑤ はん用機械
⑥ 電子部品		⑥ 金属製品

（次ページに詳細）

≪「産業部門別純移輸出入」(P2)のクローズアップ≫

2017年表



参考 1 2017 年 投入・産出構造図の作成

連関表データから、市の投入・産出（供給・需要）構造を可視化する。



【構造図の特徴】

- ・縦軸に「投入 Input（生産）」、横軸に「産出 Output（需要）」をとった相関図。
- ・企業の生産に必要な市内仕入れの「中間投入」は、需要側から見れば市内に生まれる「中間需要」となり、図では「内生部門計（2,229 億円）」として重なる。
- ・「投入」では、この中間投入に付加価値が加わり「生産額」となる。また、「産出」では、中間需要に民間消費等が加わり「需要額」となる。
- ・「総供給」（縦）と「総需要」（横）は常に同額で釣り合い、図は必ず正方形になる。
 = 供給が増えれば、必然的に需要も増える。逆もまた言える。

【構造図の読み方】

- ・総需要は（移輸出の需要 2,250 億円を含め）7,691 億円あるが、市内での生産能力は 5,171 億円であり、不足の 2,520 億円を外部からの移輸入で賄っている。（P1 の 2 に同じ）
- ・市内だけに目を向ければ、

市内需要は5,441億円（中間需要2,229億円＋市内最終需要3,212億円）…①

市内生産は 5,171 億円 …②

→ 市内自給率 ②／①=95.0% ※5%にあたる△270億円は域際収支で穴埋め。

2011 年表では、5,049 億円／6,069 億円＝83.2%
※1,020 億円は域際収支で穴埋め

参考2 構造図と経済施策

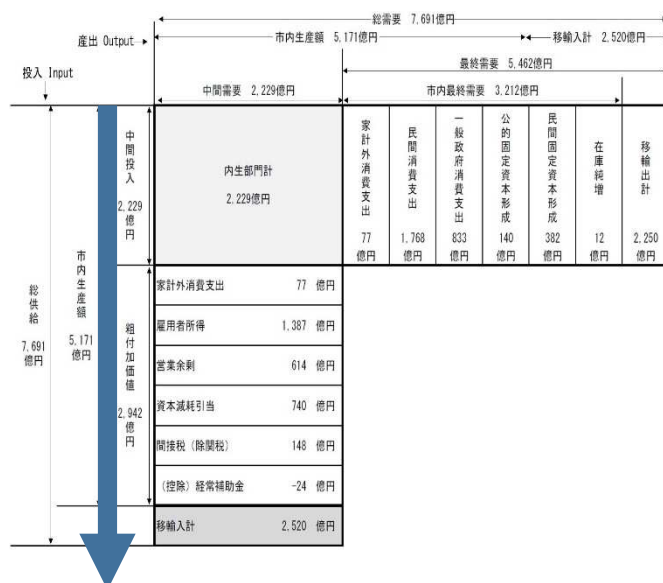
投入・産出構造図を用いて、コロナ禍において行った経済施策の意味をイメージする。

(1) 基本施策（平常時）

＝経済成長を促すため、一般的に付加価値（GDP）を高め、生産額を増やす施策がとられる。

＝生産を増やしていけば、必然的に需要側も増えていく。

↓
主に「補助金」により
企業の生産拡大を支援。

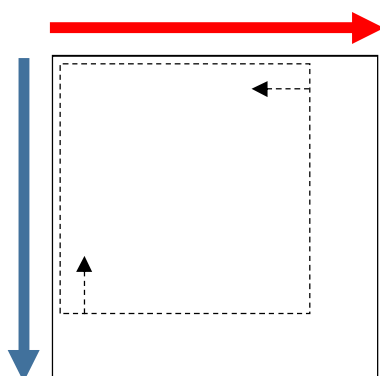


(2) コロナ禍で行ったこと（緊急時）

＝基本施策を強化しつつ、需要（消費）を増やすことで生産を刺激する施策を併せ実施。

＝需要を増やしていけば、必然的に生産側も増えていく。

↓
EAT 豊岡、BUY 豊岡、
STAY 豊岡



＝【コロナ緊急経済対策】

上へ、左へと縮む危険性のある市経済を
生産・消費両面からの刺激策によって、
下へ、右へと踏みとどまらせようとした。



今後も、こうした構造を意識しながら、局面に応じたタイムリーな施策を打つ必要がある。